

第 17 号
昭和 47 年 7 月

会

報

発行 北海道高等学校
教育研究会 事務局

札幌市中央区伏見町1872の4
札幌旭丘高等学校内
電話 561-1221番

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会長 磯 貝 芳 司

「祭来る街にアカシャ咲きそむる」という句があるこのごろですが、会員各位にはいよいよご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る6月の役員会で、引き続き会長を仰せつけられました。今後2カ年間皆様のご指導とご鞭撻によりその責を果たしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。申すまでもなく、本研究会は、「高等学校教育と学習指導の現代化」をテーマとして、高校教育の現状をふまえながらもあるべき理想をえがいた教育の実践研究をなし、さらにこれを交流してその充実を期するものであります。会員数も6千人をこえんとしていますが、さらに高校教員の自主的な全入をめざして行きたいと思っております。

今年は、本研究会ができて10周年の記念すべき大会の年であります。60年代から70年代に変転動乱の中における本研究会の歩みを顧みて、現状に及び、さらに来るべき10年を展望することは極めて意義の深いことと思っております。従いましてこの機会に記念表彰、記念研究会、記念誌の刊行等の行事を計画いたしておりますので、各位のいつそうのご支援、ご協力をお願いする次第です。来たるべき10周年記念研究大会の盛会を期待してごあいさついたします。

昭和38年5月25日札幌南高等学校に全道各地より、多数の先生方が集まって設立総会が開かれ、本会が誕生してから今年には10年目にあたり、会員も6,000名に近づいております。

当時を憶えば全く感無量のことで、このように短い期間に飛躍的に本会が発展したのは創立の時より尽された多くの役員の方々や、会員の皆様の御努力と外から後援して下された関係の方々のお力添えによるものと深く感謝し、事務局としてその責任の重さを一層強く感じております。

本会も10年を経て漸やく土台が固まり、家が建ったところでございまして今後は「自由な研究の場」として本会が発足した当時の初心にかえり、地道な実践的研究活動を通して内容を充実することこそ第一と考えております。本年度とくに計画されました10周年を記念しての諸行事の中で、本会の発展のあとをふりかえるとともに、今後のあり方についてこれ等の問題を共に考え、共に語り合いたいとねがっております。又、研究紀要、研究調査、研究大会も10周年を飾るのにふさわしい内容の充実したものにしたいと努力しておりますので、会員の皆様の積極的な参加をとくにご願いたします。

つぎに過日の第1回役員会で新たに役員が選出され(任期2年)、本年度の事業等が決まりましたので御報告いたします。

〔昭和47年度—第1回役員会〕

(日時) 昭和47年6月7日(木)
自午後1時30分～至4時30分
(場所) 札幌市中央区北3条西3丁目
「雪印パーラー」4階

1 経過報告(46.4.10～47.6.7)

- 46. 4. 10 昭和45年度事業実施報告
昭和46年度事業実施計画書提出
- 15 昭和46年度役員改選依頼
- 20 昭和45年度研究紀要第8号・会報第14号発行
- 5. 6 昭和46年度会員登録依頼
- 22 昭和46年度第1回役員会開催案内
- 6. 2 本部事務局会議 第1回役員会議案書作成
- 5 第1回役員会開催
- 15 会報第15号編集完了・印刷発注
- 7. 15 会報第15号発送 社会部会報同封
- 26～本部事務局諸資料整理(研究紀要、会報、大会要項、大会資料)
- 8. 18 第9回研究大会全体講師内定
※ 人文科学一 林 健太郎氏
(東京大学教授 文学部長)

自然科学一 矢口 新氏
(能力開発工学センター所長)

- 9. 3 本部事務局会議 第2回役員会・事務担当者会議議案書審議
- 4 第2回役員会・事務担当者会議開催案内
- 18 第2回役員会・事務担当者会議
- 10. 5 第9回大会係・役員派遣依頼状及び役員委嘱状発送
- 27 第9回大会後援依頼(道教委、市教委、道高校長協会)発送
- 11. 5 第9回大会講師派遣依頼状及び委嘱状発送
- 6 第9回大会要項・参加申込書・参加証発送
- 8 研究紀要第9号原稿締切(20編)
- 11 第9回大会全体講師派遣依頼状及び委嘱状発送
- 24 第9回大会運営会議開催案内状発送
- 25 第9回大会案内“道教委だより”に掲載される
- 27 第9回大会案内“道教委公報”に掲載される
- 12. 4 第9回大会運営会議
- 7 第9回大会全体集会開会式祝辞依頼状(道教委・市教委・道高校長協会)発送
- 10 研究紀要第9号編集完了 第9回大会資料編集完了
- 11 関係方面に第9回大会案内状発送
- 18 第9回大会参加申込締切
- 20 道教委関係助言者派遣依頼状発送
- 22 第9回大会運営委員・司会者・研究発表者名簿作成(道教委)
- 24 全体講演司会者打合せ案内状発送
- 47. 1. 6 全体講演講師・司会者打合わせ会
- 7 第9回北海道高等学校教育研究大会全体集会
- 8 第9回北海道高等学校教育研究大会教科別集会
- 10 関係方面に礼状発送
- 2. 10 昭和46年度第3回役員会開催案内状発送 会報第16号編集完了
- 19 第3回役員会開催
- 4. 10 昭和46年度事業実施報告書 昭和47年度事業計画書提出
- 5. 13 昭和47年度役員改選依頼
- 5. 8 昭和47年度会員登録依頼
- 19 本部事務局会議
- 21 第1回役員会開催案内
- 6. 7 第1回役員会開催

2 昭和46年度収支決算報告
(会計監査報告)

3 昭和47年度役員改選
(別紙役員一覧表参照)

4 昭和47年度一事業計画

(1) 第10回北海道高等学校教育研究大会の開催
(10周年記念大会)

① 全体集会

- ・期 日 — 昭和48年1月9日(火)
- ・場 所 — 北海道厚生年金会館
(札幌市北1条西12丁目)
- ・日 程

9:00	9:40	10:40	12:30	13:30	15:30	17:00
受付	開会式 式典	講演	昼食 休憩	講演	祝賀会	

- ・運 営 — 本部担当

② 教科別集会

- ・期 日 — 昭和48年1月10日(水)
- ・場 所

国語部会(拓銀ホール)
 社会部会(札幌南高校)
 数学部会(北陸銀行)
 理科部会(未定)
 芸術部会(市民会館)
 保体部会(札幌旭丘高校)
 英語部会(札幌旭丘高校)
 家庭部会(市民会館)
 農業部会(市民会館)
 工業部会(理美容センター)
 商業部会(北海学園大学)
 水産部会(小樽水産高校)

- ・日 程

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演又は 研究討議	昼食 休憩	講演又は 研究討議	部 会 総 会

- ・運 営 — 各教科部会担当

③ 研究テーマ

- ・全体

「高等学校教育と学習指導の現代化について」

- ・部 会

国語—教材の研究—作品論を中心に—
 社会—社会科教育の現代化とその方向—学習
 を深めるためのねらい、内容、方法に
 ついて—
 数学—数学教育の現代化
 理科—これからの理科教育はどうあるべきか

1. 新教育課程に際して、実践面においてどのように展開すべきか
2. 現状の教育の問題点をふまえて
保体—『保健体育指導上の諸問題とその研究』
—新学習指導要領実施に伴う諸問題を
中心に—

芸術—芸術教育の現代化

英語—新教育課程に関連して—英語教育の授
業をどのようにすすめたらよいか—

家庭—これからの家庭教育はどうあるべきか
農業—未定

工業—工業高校における専門教科の教育内容
の現代化
(特に、教育内容の精選、構造化の手
法について)

商業—商業教育現代化のための具体的問題点
について

水産—水産教育の現代化について・教育課程
学習指導法

④ 講 師

- ・全体集会

原則として中央から2名。その内訳としては、人文科学部門1名、自然科学部門1名とする。
 なお、希望講師(および希望演題)があれば
 本部事務局へ申し出られたい。

- ・教科別集会

各教科部会で決定されたい。(なお、委嘱状・
 依頼状は本部事務局で)

⑤ 大会参加料

次の参加料を徴収する。

会 員 — 400円(本年度のみ10周年記念誌
 代として100円増)
 非会員 — 1000円

⑥ 受付方法

△参加申込書に必要事項を記入の上参加料をそ
 えて12月2日(土)までに所属校(団体)単位で
 本部事務局まで申込むこと。

△参加証は所属長を通じて本人に届くようにす
 る。

△大会当日参加証持参のものに限り教科毎の受
 付で資料を受け取り入場する。

△当日参加するものは会場に余裕がある限り受
 付けるよう配慮する。

(2) 研究紀要第10号発刊

・規 格 — B5版 250頁程度

・発刊予定 — 昭和48年3月10日(土)

・原稿締切 — 昭和47年11月6日(月)(厳守)

・原稿内訳

☆教科は1教科につき400字詰原稿用紙(本部
 規定)70枚以内。原稿の集約、審査等は各教
 科部会で行なう。(申込先—各教科事務局)

★教職一般は1編につき400字詰原稿用紙(本部規定)30枚以内。原稿の集約、審査等は地区支部長及び本部役員で行なう。(申込先一各支部事務局)

★研究調査は研究紀要に調査報告を掲載する。

★紀要抜刷50部は執筆者分を本部で一括発注する。なお、50部以上希望の方は各個人においてその分を印刷業者と連絡を取って直接申し込みのこと。

★発表者が決まり次第、本部より地区支部及び教科部会を通じて必要枚数の原稿用紙をお送りする。

<備考>

1. 紀要は全一冊として発刊する。
2. 教職一般の原稿は、特定校に集中しないよう配慮したい。
3. 原稿締切日は厳守し、以後の分は認めないこととする。
4. 原稿は必ず支部・部会を經由して本部へ提出すること。本部へ直送されることは絶対ないようお願いする。なお、支部・部会の原稿の厳選ををお願いしたい。
5. 紀要論文募集要項は、この「会報17号」と同時に「道教委だより」にも掲載するので参照されたい。

<原稿の書き方についてのお願い>

★原稿用紙1枚目の1行目には『題目』を、2行目には『勤務先・執筆者氏名』を記す。たて書原稿の場合もこれに準ずる。

★文中、ゴジツクを要するところは、ゴジツク(朱書)、イタリックの場合は、イタ(朱書)のように下線を引く。

★図は、白紙又は青色紙に墨又は黒インクで鮮明に書き直接凸版にできるようにする。

★図、写真は別紙とし、余白に番号と氏名を書く。写真版が多くなるときは予算の関係上本部編集部担当者(沢田)にご連絡下さい。

★図、写真の入るところは原稿中にはつきり指定すること。

★原稿は原則としてお返ししません。

(ハ) 会報17号、18号の発行

・回数 一年2回(7月・3月)

・内容

<17号>

- ・全体研究テーマ
- ・教科部会研究テーマ
- ・研究紀要要項
- ・研究調査要項
- ・事務局(本部、地区支部、教科部会)一覧
- ・役員名簿一覧
- ・昭和47年度事業計画、予算
- ・第10回研究大会(10周年記念大会)について

<第18号>

・第10回研究大会成果報告等

(ニ) 研究調査

<昭和47年度の申込受付について>

・申込方法

本年度の採用予定は4~5テーマで、申込は教科関係のものは各教科部会、教職関係のものは地区支部でとりまとめ、それぞれ部会長、支部長を經由して本部事務局へ9月9日(土)までに連絡する。

・研究調査の期間

研究調査の期間は1年又は2年継続で、1年で完成のものは1万円、2年継続のものは各年度5千円の調査費が配当される。

・紀要発表

研究調査の報告は研究紀要に掲載するので、内容を400字詰原稿用紙20枚程度に要約し、教科又は支部を経て、11月6日までに本部へ提出する。

(昭和46年度完了のもの)

① 学校経営の近代化を志向して

芦別商業高校 佐藤枝郎

② 政治・経済における課題研究学習の実践

札幌旭丘高校 鈴木健吉

③ 学校実習漁場に於けるマコンブ "Laminaria

Japonia Areschoug" 栽培に関する研究

恵山高校 阿部準三 小田貞雄

④ 工業高校卒業者の職場生活の意識について

札幌琴似工業高校 清水茂

⑤ 本校におけるスポーツテストの実態とその活用

札幌旭丘高校 桜井文雄 菅原道行

竹谷紀靖 片桐令子

高橋勝昭 田中令子

(ホ) 10周年記念行事

① 記念誌の発刊

<内容>

・発刊の辞(会長)

・祝辞(道教委、市教委、高校長協会)

・10年を顧みて(歴代会長)

・10年の歴史(沿革小史)

・全体集会(テーマ、講演その他)

教科部会のあゆみ

地区支部のあゆみ

本部事務局のあゆみ

研究紀要、研究調査、会報(10年の記録)

座談会(誕生から10周年まで:歴代会長、事務局長)

・教育年表(10年と日本、北海道の教育のあゆみ)

・現況と将来への展望

※第10回研究大会参加者全員に配布。その他各学校、関係団体に1部づつ。

- ② 功労者表彰(表彰状、記念品)
 ・日時—昭和48年1月9日(第10回研究大会全体集會に於いて)
 ・場所—北海道厚生年金會館
 ・対象—歴代会長
- ③ 祝賀會
 ・日時—昭和48年1月9日 午後5時より
 ・場所—北海道厚生年金會館(予定)
 ・参加者—歴代会長、副会長その他関係者
- ④ 記念講演
 第10回研究大会全体集會に行なう。
 ※10周年記念行事予定表
 ・5月19日(金)—10周年記念行事関係原案作成(本部事務局)
 ・6月7日(水)—第1回役員會にて原案審議教科部會、地区支部への原稿依頼
 歴代会長、道教委、市教委、高校長協會への原稿依頼
 ・6月13日(火)—10周年記念誌編集會議 編集計画 分担決定
 ・7月31日(月)—座談會
 ・9月下旬—記念誌原稿締切
 ・11月中旬—編集完了 印刷発注 校正完了(下旬)
 ・48年1月9日—記念誌発刊 功労者表彰 祝賀會

5 昭和47年度會員登録及び名簿作成について

- (イ) 各學校毎の會員名簿は3部作成し、そのうち2部は各地区支部事務局へ會費と共に送付されます。(1部は地区支部保管、1部は本部事務局へ)
- (ロ) 地区支部事務局は地区支部内の教科毎の名簿を2部作成し、會費と共に本部事務局宛お送り下さい。(このうち1部は整理して教科部會にお渡しするものです。)
- ※ 従つて地区支部事務局より本部事務局宛送付するものは
- ① 學校毎會員名簿 1部
 ② 教科部會每名簿 2部
 ③ 地区支部會員集計表 1部
 ④ 會費(北海道銀行札幌旭丘支店振込)
- 以上を7月15日までにお送り下さい。
- (ハ) 追加會員があつた場合についても以上の手続きをお願いいたします。
- (ニ) 以上の諸用紙は必ず黒で記入し、原簿をお送り下さい。複写を必要とする時がありますので。

6 年間行事予定表(別紙参照)

7 本部役員、地区支部、教科部會事務担当者、本部事務局構成(別紙参照)

8 その他

(昭和46年度 會員加入状況)

(47.2.19現在)

部會 地区	国 語	社 會	数 学	理 科	保 体	芸 術	英 語	農 業	工 業	商 業	水 産	家 庭	計
札幌	134	163	137	178	105	32	137	31	83	56		43	1,099
函館	48	66	54	74	43	8	50	16	35	53	33	19	499
後志	21	22	17	26	20	2	20	50	7	19		15	219
小樽	16	20	12	21	15	2	23		27	27	27	2	192
南空知	45	58	43	63	62	15	51	50	44	25		23	479
北空知	52	63	56	63	37	15	43	38	51	57		23	498
旭川	51	67	53	54	50	11	58	49	55	50		22	520
留萌	14	16	12	24	16	3	15	8	17	18	3	9	155
名寄	44	56	31	51	43	10	41	39	28	41		21	405
北見	58	59	48	61	48	12	55	37	17	47		31	473
釧根	36	55	40	49	44	12	35	23	22	37	11	21	385
十勝	43	49	34	40	29	11	29	52	14	25		15	341
苫小牧	31	41	38	38	21	8	29	16	22	25		14	283
室蘭	24	34	30	37	20	4	33	7	20	23		12	244
計	617	769	605	779	553	145	619	416	442	503	74	270	5,792

<昭和47年度> 年 間 予 定 表 <北海道高等学校教育研究会>

月 日 曜	本 部	備 考	地区支部	教 科 部 会
4 10 (月)	昭和46年度事業実施報告書提出 昭和47年度事業計画書提出			
5 8 (月) 13 (土) 19 (金)	昭和47年度会員加入登録依頼 本部役員・地区支部長・教科部会長改選 本部事務局会議	第1回役員会議案書作成	役員改選	役員改選
6 7 (水) 20 (火)	第1回役員会		第1回役員会 役員名簿提出 期限	第1回役員会 役員名簿・部会テ ーマ提出期限
7 3 (月) 15 (土)	会報第17号発行	内容：全体研究テーマ・部会研究 テーマ・紀要論文研究発表・研究 調査・事務局一覧・役員名簿一覧	会員名簿提出 期限	
9 6 (水) 16 (土)	本部事務局会議 第2回役員会 教科部会事務担当者会議	第2回役員会・事務担当者会議議 案書作成 事業計画・実行予算・会員加入に ついて・全体集会・教科別集会 第10回研究大会運営について・研 究発表・研究紀要教科別集会会場 ・日程表・部会講師	第2回役員会 事業計画書提 出	第2回役員会 事業計画書提出 事務担当者会議
11 4 (土) 6 (月)	研究紀要論文原稿締切	第10回研究大会講師、役員委嘱 状・後援依頼状・ 公報、道教委だより掲載依頼状・ 大会要項発送	研究紀要論文 原稿締切	教科別講師・係・ 役員委嘱状発送 研究紀要論文原稿 締切
12 2 (土)	第10回研究大会申込締切 第10回研究大会運営会議	祝辞依頼状	第10回研究大 会申込締切	
1 9 (火) 10 (水)	第10回研究大会全体集会 第10回研究大会教科別集会	1. 13(土)関係方面に第10回研究 大会の礼状発送	第10回研究 大会 第10回研究 大会	第10回研究大会 ・礼状発送
2 17 (土)	第3回役員会	本部事務局会議(第3回役員会議 案書作成)	第3回役員会	第3回役員会
3 10 (土)	研究紀要第10号、会報第18号 発行	会報内容：第10回研究大会報告		

〔高教研 { 地区支部 } 事務局所在地・事務担当者名一覧〕

<地 区 支 部>

地区支部	事務局校	住 所	(電 話)	郵便番号	事務担当者
石 狩	札幌北陵高校	札幌市中央区南1条東6丁目	(241-0378)	060	千葉 賢 一
道 南	函館東高校	函館市柳町11番5号	(52-0083)	040	樋口 隆 士
後 志	倶知安高校	虻田郡倶知安町北7条西2丁目	(2-1322)	044	岡田 貞 幸
南 空	栗山高校	夕張郡栗山町中央3丁目310番地	(2-1073)	069-15	浅利 俊 吉
北 空	砂川北高校	砂川市西3条北9丁目1番地	(2482)	073-01	黒川 志 郎
上 川	旭川商業高校	旭川市曙3条3丁目	(22-3557)	070	竹原 重 民
留 萌	苫前商業高校	苫前郡苫前町字古丹別	(142)	078-36	工藤 哲 一
宗 谷	稚内高校	稚内市エノシコマナイ	(3-4153)	097	古谷 勤
網 走	遠軽高校	紋別郡遠軽町南町1丁目	(2675)	099-64	田中 美知男
釧 根	釧路江南高校	釧路市光陽町24番地	(22-7977)	085	林 司
十 勝	芽室高校	河西郡芽室町東3条4丁目	(2625)	082	赤塚 一 夫
胆 振	苫小牧工業高校	苫小牧市末広町5の1	(2-3260)	053	岩水 正 敏
日 高	様似商業高校	様似郡様似町大通り1丁目25番地	(407)	058	高橋 豊

<教科部会>

教科部会	事務局校	住 所	(電話)	郵便番号	事務担当者
国 語	札幌開成高校	札幌市東区元町170番地	(781-8171)	062	上 西 和喜雄
社 会	札幌東高校	札幌市白石区菊水東町3丁目	(811-0593)	062	村 上 恒 一 池 田 俊 二
数 学	札幌啓成高校	札幌市白石区厚別町下野幌1982	(891-3100)	061-01	市 毛 明
理 科	札幌南高校	札幌市中央区南18条西6丁目	(521-2311)	060	辺 見 竜 夫
保 体	恵庭南高校	恵庭市桜町74番地	(2391)	061-14	孤 塚 英 隆
芸 術	札幌旭丘高校	札幌市中央区伏見町1872	(561-1221)	060	滝 沢 光 郎
英 語	札幌西高校	札幌市中央区琴似宮ノ森800	(611-4401)	063	丹 治 幹 衛 福 原 俊 明
家 庭	札幌東高校	札幌市白石区菊水東町3丁目	(811-1919)	062	後 藤 喜 美
農 業	俱知安農業高校	虻田郡俱知安町字旭15	(2-1148)	044	高 橋 清 夫
工 業	札幌琴似工業高校	札幌市西区琴似町発寒1020	(661-3251)	063	清 水 茂
商 業	小樽商業高校	小樽市緑町3丁目4番1号	(3-9231)	047	小山内 養市郎
水 産	小樽水産高校	小樽市若竹町9番1号	(5-0063)	047	野 村 雅 夫

[昭和47年度 北海道高等学校教育研究会]

本部役員名簿

(会 長)	磯 貝 芳 司(札幌旭丘)	
(副会長)	細 谷 猛(札幌南)	川 井 信 雄(札幌工業)
	内 田 淳 一(江 別)	
(監 事)	刀 野 清 輝(札幌啓北商業)	成 田 勇 造(岩見沢東)
	佐 藤 晃 一(札幌東商業)	
(顧 問)	梶 浦 善 次(道女子短大)	長 瀬 米 蔵(道女子短大)

地区支部長

(石 狩)	本 間 末五郎(札北陵)
(道 南)	横 田 淳 一(函 東)
(後 志)	柳 川 重 男(俱知安)
(南空知)	町 田 敬 治(栗 山)
(北空知)	谷 川 伸(砂 北)
(上 川)	二階堂 文 雄(旭 商)
(留 萌)	山 下 三 郎(苫前商)
(宗 谷)	鈴 木 勲(稚 内)
(網 走)	吉 本 昇(遠 軽)
(釧 根)	北 条 忠(釧江南)
(十 勝)	西 山 勝(芽 室)
(胆 振)	佐 藤 健 作(苫 工)
(日 高)	今 井 敏 夫(様似商)

教科部会長

(国 語)	笠 岡 正 次(札開成)
(社 会)	細 谷 猛(札 南)
(数 学)	斎 藤 国 夫(札啓成)
(理 科)	武 智 省 三(札 西)
(保 体)	木 村 隆 一(函 北)
(芸 術)	千 葉 正 信(福島商)
(英 語)	武 智 省 三(札 西)
(家 庭)	川 原 イ ト(札 東)
(農 業)	清 水 小 十(俱 農)
(工 業)	中 神 肇(札琴工)
(商 業)	友 田 義 潔(樽 商)
(水 産)	斎 藤 一 郎(樽 水)



(編 集 後 記)

会員の皆様方には夏休み前の多忙な日々をお越しのことと思います。さて、お待ち兼ねの「会報17号」本日お手元にお届け致します。今回は特に、10回大会が10周年記念と重なる事として、その記念行事関係にスペースをさきました。研究紀要申込みの記事と合わせ御留意下されれば幸いと存じます。なお、毎度のことながら発行にあたり資料をお寄せ下さった先生方に厚くお礼申し上げます。

(編集部一沢田)